

第6回アイスクライミング ジャパンカップ 成績表 (2010.2.11修正版)

2010年2月6、7日 群馬県川場村桐の木平キャンプ場にて

審判長
赤松久宇

■ ルート競技予選

男子

順位	選手名	ルート毎のポイント								合計
		A	B	C	D	E	F	G	H	
1	山岸 尚将	12	25	20	50	12	12	25	12	168
2	横沢 祐司	12	25	20	50	12	12	25	12	168
3	越 友宏	12	25	20		12	12	25	12	118
4	山田 高英	12	25	20		12	12		12	93
5	大前 義孝	12				12	12	25	12	73
6	清水 智	12		20		12	12		12	68
7	桜澤 斉	12				12	12		12	48
8	高野 友宏	12					12		12	36
9	大谷 薫					12				12
10	宮城 公博									0

女子

順位	選手名	ルート毎のポイント								合計
		A	B	C	D	E	F	G	H	
1	大前 慈雨	33			100	25	25	100	25	308
2	石原 幸江	33		50		25	25		25	158
3	山岸 亮子	33		50		25	25		25	158
4	八木 名恵					25			25	50
5	松永 夕花里						25			25
6	金子 まどか									0
6	星野 緑									0
6	石渡 貴子									0

- ・男女同一8ルートで、各ルートを3回トライできるトップロープでのセッション方式とした。
- ・オブザベーション後、F,G,Hのみのトライを希望する選手には、各ルート6回トライを可能とした。
但し、F,G,H以外のルートのトライはできない。(希望者はいなかった。)
- ・ルート毎のポイントは、各ルートの最高到達ポイント到達者数で100ポイント割って得られた数字。
但し、少数点以下を切り捨てた。(女子のB,C,Dルート以外は、全て完登者がでた。)
- ・合計ポイントが同一の場合は、最高到達点に達するのに要したトライ数が少ない選手を上位とした。

■ ルート競技決勝

- ・制限時間内であれば、フォールしてもスタート地点からリトライできるオンサイトリード方式とした。
- ・予選の結果で、男子は上位6人、女子は上位4人で決勝を行うこととしたが、
連日の降雪により大会会場へのアクセスが困難となったため、競技は中止した。
- ・決勝を中止としたため、ルート競技の順位は予選の順位とした。

■ スピード競技

男子

順位	選手名
1	清水 智
2	横沢 祐司
3	山岸 尚将

女子

順位	選手名
1	山岸 亮子
2	石原 幸江
3	金子 まどか

- ・2人ずつでのトーナメント方式とした。

以上